

国内向けノベルティデザインの研究

矢野 強 長谷川恵子 森本 健*

Study on Designs of Novelties for Domestic Market

By

Tsuyosi YANO, Keiko HASEGAWA and Ken MORIMOTO*

国内向けノベルティの製品開発を行い、ノベルティ業界や和食器業界に新しいノベルティのデザイン提案をするため、国内のノベルティの現状を雑誌等の画像情報と一般家庭における陶磁器製ノベルティの実態をアンケート調査を通じて情報収集して、これを基に国内向けノベルティ食器のデザインと試作を行った。

試作品は、栗の形状をしたS&Pセット、皿(大、小)、仕切り付皿(大、小)、サラダボウル(大、小)、小鉢、ドレッシング入れ、蓋物と、どんぐりの形状をしたS&Pセット、皿(大、小)、仕切り付皿(大、小)、サラダボウル、小鉢である。また、これに加えフクロウ、狸、狐の形状をした酒器セット(徳利と猪口)を試作した。

1. 緒 言

瀬戸地域の輸出向けノベルティ業界は、円高等の経済環境の悪化により、生産量が激減している。この対応として干支や雛飾り、観光地の土産品、及びファンシー商品等、国内向けのノベルティを開発して、製品転換をしている企業が多くある。また、消費者の嗜好は、生活の向上により夢や楽しさ、うるおいを求めるようになり、和陶器のカタログや雑誌にもノベルティの画像情報が多く見られ、ノベルティの需要は高まりつつある。

これらの背景を基に、本年度はノベルティの画像情報を収集、合わせて消費者へのアンケート調査を実施し、これに基づき国内市場をターゲットにしたノベルティのデザインと試作を行い、ノベルティ業界の製品開発力の向上を図った。

2. 画像情報の収集

国内向けノベルティのデザインをするにあたり各種雑誌の画像から、陶磁器製ノベルティのデザイン及びその売り場と商品の種類を調べた。

国内のノベルティ市場を見ると、陶磁器専門店から百貨店の陶磁器売り場、インテリア用品売り場、ギフト用品売り場、ファンシーコーナー、家具売り場、及び観光地の土産品等と思いがけない所で売られている。

商品の種類は床の間や出窓を飾る置物から、壁掛や照明器具、花器等の室内装飾品、ガーデンセットや植木鉢等の

エクステリア用品、塩・胡椒入れや蓋物、及び皿等の食卓用品、ペン皿や筆立て、灰皿、貯金箱、及び宝石箱等のデスク用品があり、生活に関わる全ての部分で商品開発が行われている。

具体的に国内の陶磁器製ノベルティの形状を見ると人物をはじめとして、動物、鳥、魚、貝、果物、花、建築物、乗り物、及びスポーツ用具等があり、クラシックなものからモダン、具象的なものから抽象的なものまであらゆる形状の商品がある。

また、古くからある伝統的な装飾品である雛飾りや干支等の祭りごと用品、鶴や亀、招き猫、狛犬、達磨、七福神等の縁起物、鷹、鷺、狸、蛙、竜、鯉等の置物、土人形等の民芸品、あるいは、手作りを重視したクラフト製品がある。さらに、輸出向け商品を転用したものや輸入品も多く見ることができる。

その他に、陶磁器以外では石、ガラス、金属、木、竹、プラスチック、布、紙、ゴム等の各種素材が使用されている。

なお、画像情報の収集やアンケート調査をする上で、ノベルティという言葉自体の意味が明確になっていない部分があるため、ノベルティの概念として、新奇性のある物は当然として、業界で言われている玩具置物から伝統的装飾品や自然の動植物の形状をモチーフにした食卓用品等、幅広い意味合いでとらえた。

3. 消費者へのアンケート調査

国内向けノベルティデザインをするため、一般家庭の主婦を対象にどんなノベルティを購入して使用しているかを調査した。ノベルティという言葉が雑誌で多く見られる様になってきたが、まだ一般化してないと思われることや、個々の人の感性により認識が異なると思われるため、調査はノベルティという言葉を使わずに、動物や魚、貝、鳥、野菜、果物、植物、昆虫、運動具、乗り物、建物、人等の具体的な形状をしたものを対象に、どんな用途のある陶磁器製品を持っているか問う方法で行った。

具体的には45の一般家庭の主婦を対象に調査した結果、総数で399点のノベルティがあった。

その品種の内訳は置物が187、箸置き48、皿44、蓋物20、貯金箱20、干支20、土鈴13、壁掛け11、カップ8、灰皿7、調味入れ5、花器5、酒器5、その他6である。置物は動物、鳥、人の形状をした物が、食卓用品は野菜、植物、果物、魚、及び貝等の形状をした物が多い。また、形状別に見ると人物65、動物63、鳥45、魚33、野菜31、植物23、建物15、果物13、貝12、乗り物8、昆虫4、運動具2、その他85であった。

4. 国内向けノベルティのデザイン開発

4.1 デザイン背景

現在瀬戸地域のノベルティ業界で作られている多種多様な製品の中に、ノベルティ食器と呼ばれる動物、魚、貝、鳥、野菜、果物、植物の形状をした皿や蓋物、カップ、調味入れ等の食卓用品類が多くある。これらのものは、和陶器の中にもあり、染め付けの魚や貝、果物、木の葉の形をした皿や鉢等がある。これらのノベルティ食器は、雑誌の画像やアンケート調査の中にノベルティ感覚の食卓用品として、多く見ることが出来る。また、生活の向上により夢や潤い、楽しさ、個性が求められており、今後とも需要は増加すると思われる。

これらの背景を基に、輸出用ノベルティ食器の感性や色彩、サイズ、組み合わせ方法を和陶器に活用して、新しいノベルティ食器の商品開発を行い、ノベルティ業界や和飲食器業界にデザイン提案をする。これは、従来の和飲食器の流通経路や市場が利用できることや、輸出用のノベルティ食器のデザイン感覚や製造技術を利用できるメリットがあり、商品開発の有効な手段となる。

4.2 デザイン意図

現在は、生活が豊かになり、生活環境が見直され自然の大切さが言われるようになり、どんぐりを播いて緑の森を取り戻す運動や、野鳥の会等、アウトドア活動が盛んになり、自然の動植物に対して関心が高まってきた。また、生活の質的向上により、生活を楽しみながら、自分自身を取り戻すことを心掛けるようになり、自分の趣味や感性を自己主張できる、ノベルティ感覚の生活用品が求められている。それらの背景を基に、どんぐりや栗、動物をテーマにしてノベルティ食器をデザインした。

5. 栗の形状をしたノベルティ食器のデザイン

5.1 栗形のS&Pセット

栗拾いで、いかに栗がどんな状態に入っているか、ときめく感じを表現した。デザインは、はじけたいがを受け皿にして、その上にS&Pと楊子入れを乗せたセットにして、栗の素朴で可愛いイメージをだした。加飾は、素地の中に斑点の出る有色釉器を使用して、白化粧土による塗り分けや、鉄赤釉を塗り分けて素地との対比効果をだす等、簡易な加飾方法によりデザインした。写真1 表1

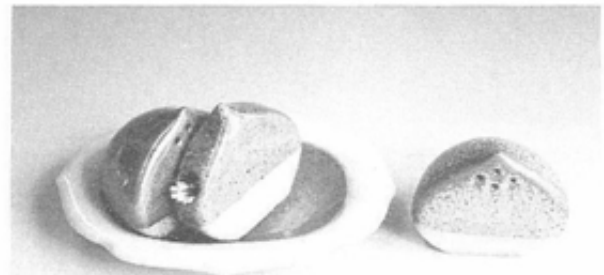


写真1 栗形のS&Pセット

5.2 栗形の皿と仕切り付き皿

栗の形状を皿にしたもので、サイズを変えて作ることで、ケーキ皿やパン皿あるいは大きくしてスパゲッティ皿等に用途展開する。また、皿の中に仕切りを作りコロケにソースやドレッシングを添えたりして使用する。加飾は白化粧土による塗り分けや灰釉を使用して自然で素朴な感覚にデザインした。写真2 表1

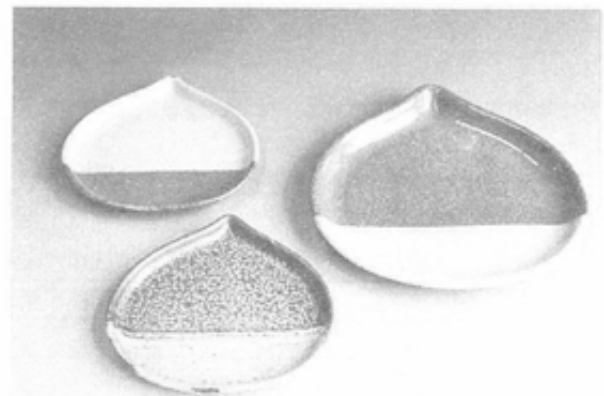


写真2 栗形の皿と仕切り付き皿

5.3 栗形のボウルと小鉢

栗の形状をデザインしたもので、サイズのバリエーションによりサラダボウルや漬物を入れる小鉢、あるいは煮物鉢等、用途を変えることができる。加飾は自然で素朴な味を出すため、白化粧土や灰釉を使用した。また、鉄赤釉の塗り分けにより素地と釉薬の対比による美しさを狙ってみた。写真3 表1



写真3 栗形のボウルと小鉢

5. 4 栗形のドレッシング入れと蓋物

栗の尖った部分を片口状にして、ドレッシング入れをデザインしたもので、鉄赤釉により栗のイメージを表現した。

また、品揃えを豊富にするためドレッシング入れに栗形の薄い蓋を付けて蓋物にした。加飾は白化粧土による塗り分けや、灰釉のテクスチャーを生かし自然で素朴な感覚にデザインした。写真4 表1

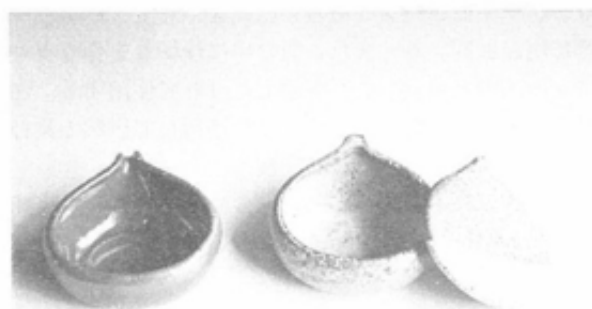


写真4 栗形のドレッシング入れと蓋物

表1 栗の形状をした試作品の寸法

品名	単位 (mm)			
	高さ	横幅	奥行	深さ
S & Pセット	65	3	45	—
楊枝入れ	67	75	22	—
受け皿	25	163	17	115
皿 (大)	26	210	210	15
皿 (小)	19	154	150	9
仕切り付き皿 (大)	26	210	210	15
仕切り付き皿 (小)	19	154	150	9
蓋物 (本体)	34	77	79	28
蓋物 (蓋)	7	73	72	—
サラダボール (大)	51	190	183	40
サラダボール (小)	35	148	147	26
ドレッシング入れ	34	77	79	28
小鉢	27	91	89	19

6. どんぐりの形状をしたノベルティ食器のデザイン

6. 1 どんぐり形のS & Pセット

やじろべえを作って遊んだ子供のころのイメージをデザインしたもので、どんぐりの実と袴を別々に作り、袴を受け皿にして素朴で可愛い持ち味を表現した。加飾はどんぐりの実を鉄赤釉で表現し袴は無釉の有色素地で作り、釉薬との対比による美しさをデザインした。写真5 表2

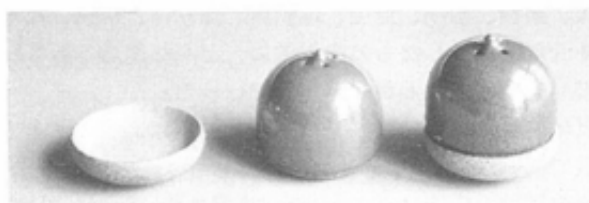


写真5 どんぐり形のS & Pセット

6. 2 どんぐり形の皿

どんぐりの形状を皿にデザインしたもので、写真2の皿と同じくサイズを変えて作るによりケーキ皿やパン皿、あるいは大きくしてスパゲッティ皿等、用途を変えることができる。また、皿の中に仕切りを作り、コロケとソースを添えたりして使用する。加飾は白化粧土による塗り分けや灰釉により自然な感覚にデザインした。

写真6 表2

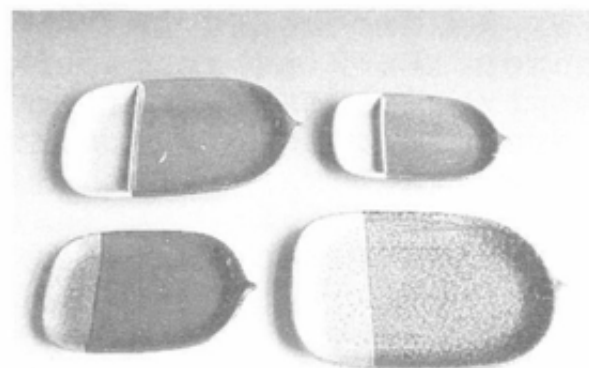


写真6 どんぐりの形の皿と仕切り付き皿

6. 3 どんぐり形のボウルと小鉢

どんぐりの形状をボウルにデザインしたもので、写真3と同じくサイズを変えて作るによりサラダボールや漬物を入れる小鉢や煮物鉢等と用途を変えた。

加飾は白化粧土による塗り分けや灰釉による自然な感覚、鉄赤釉の塗り分けによる素地との対比効果を活かしてデザインした。写真7 表2

なお、栗と、どんぐりをテーマにした上記一連の食卓用品は、商品としての展示効果を考慮してセット化できるようにしたもので、S & Pを中心に皿やボウルのサイズを変えて組み合わせを容易にした。組み合わせとして、同じ形状の物でセット化をすることのほか、栗形のS & Pと、どんぐり形の皿やボウルを組み合わせるサラダセットにして

楽しむこともできる。

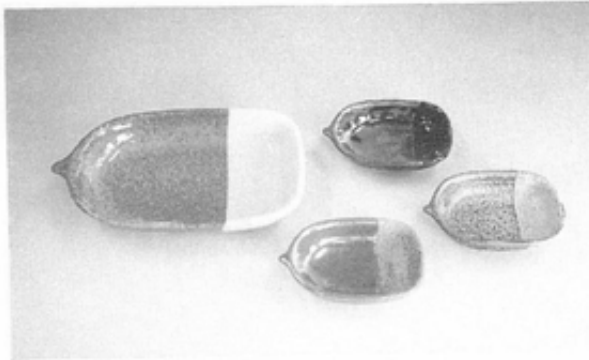


写真7 どんぐり形のボウルと小鉢

表2 どんぐりの形状をした試作品の寸法

品名	高さ	横幅	奥行き	軸(mm)	
				深さ	口径
S & Pセット	62	63	63	—	—
受け皿	220	65	65	11	—
皿(大)	22	233	155	13	—
皿(小)	21	180	115	11	—
仕切り付き皿(大)	23	233	155	13	—
仕切り付き皿(小)	21	180	115	11	—
浅鉢	32	181	114	24	—
小鉢	26	100	69	18	—

7. 狸、狐、フクロウの酒器デザイン

話題性と遊び心をテーマにしたものであり、狸、狐、フクロウは動物や鳥のなかでは愛嬌があり、親しみやすく民話や絵本などにも取り込まれ、身近な感じがする。

デザインは、狸、狐、フクロウの胴体を徳利にして、頭部で猪口を作り酒器セットにしたもので、徳利の上に乗った頭部を裏返すと猪口になる意外性を楽しめるようにした。

また、試作は自然感覚の土味と灰釉を使用し、白化粧土の吹き付けによる簡単な加飾方法で、素朴で暖かな感じに作ってみた。写真8、9、10 表3

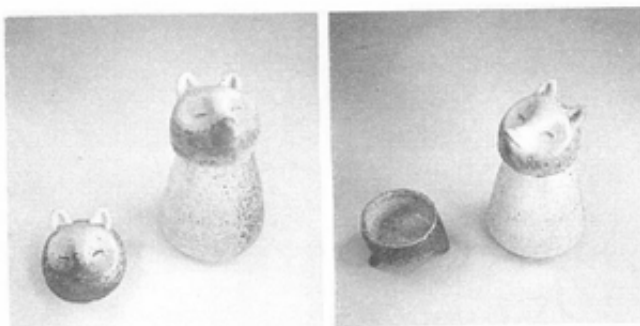


写真8 狐の酒器セット

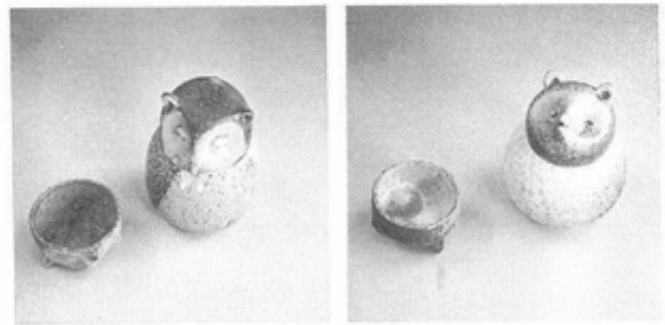


写真9 フクロウの酒器セット 写真10 狸の酒器セット

表3 酒器セットの寸法

	軸(mm)					
	ふくろう		たぬき		きつね	
	徳利	猪口	徳利	猪口	徳利	猪口
高さ	72	36	88	42	113	38
直径	85	54	88	58	62	51

8. 試作品の材質、成形、焼成

試作品は有色珧器素地を使用して排泥鑄込によりS & P、ドレッシング入れ、蓋物、酒器を成形した。また、皿、ボウル、小鉢、受け皿は、圧力鑄込で成形した。

焼成は小型ガス炉を使用して最高温度1280℃、45分間保持の条件で還元焼成を行った。

9. まとめ

ノベルティは多種多様なものがあり、どんな売り場で、どんな方法で売るのがかを、明確にすることが必要になる。

また、国内におけるノベルティの販売は流通が複雑で新規参入による市場開拓が難しい点がある。このため、新規の市場開拓を考えると、単品になりがちなノベルティは展示効果が弱いので、各種のセット物が可能になるような品揃えにして、まとまりのある展示ができる商品開発が望ましい。

なお、デザインした試作品は30周年記念『陶&くらしのデザイン展 93』で発表した。また、栗とどんぐりをモチーフにした一連のノベルティ食器は輸出製品を作っている企業が国内向けとして商品化を進めている。